

地域社会とともに

欧州での社会貢献活動

権威ある賞に輝いた、BIUKの社会貢献活動

環境への取り組みが評価されResponsible Business Award 2014を受賞

UKのウェールズに拠点を構えるブラザーインダストリーズ(U.K.)Ltd.(以下BIUK)が、優れた社会貢献活動を行った企業に与えられる「Responsible Business Award 2014」の2部門で受賞し、7月に受賞式が行われました。このアワードはチャールズ皇太子が代表を務めるNPO団体、Business In The Communityが1997年より行っているもので、企業のCSR活動を評価するイギリスで最も名誉ある賞のひとつです。

BIUKは、地域や環境に優れた貢献を行ったウェールズの中小企業に贈られる「Finance Wales Responsible Small Business Award」と、持続可能な製品・サービスを提供し続けている企業に贈られる「Sustainable Products and Services Award」の2つの賞を獲得することができました。

以前からBIUKではトナーカートリッジをプラスチック原料にリサイクルするビジネスを展開し、事業活動のあらゆる面で環境に配慮した取り組みを続けています。その結果2013年には生産過程で発生するCO₂排出量を2010年比で34%削減。使用済みトナーを無料で回収する仕組みを作ることで、回収数を2005年比で20倍以上に増加させることに成功しました。また、事業活動以外でも、従業員の約4割が地域の環境ボランティア活動に参加していることも高く評価されました。このような活動が認められ、今回の受賞となったのです。

BIUK Senior ManagerのDave Lawrenceさんは「今回受賞できたのは、従業員の皆さんが日々の業務に「ブラザーグループグローバル憲章」(以下、グローバル憲章)の考えを取り入れ、努力を続けてきたおかげです。心から感謝します」とコメント。「グローバル憲章」の浸透活動を推進する従業員の活動が認められたことは、BIUKの全従業員の誇りとして胸に刻まれ、今後の活動の糧となることでしょう。

ブラザーグループでは、これからも積極的に社会貢献活動を推進し、地域社会をよりよくするための継続的な取り組みを従業員一体となって進めてまいります。



授賞式に参加したBIUKテクニカルマネージャーのJulianさん(左)とCSRコーディネーターのPatriciaさん(右)
©Paul Fears Photography